

平成26年9月11日

各位

筑波大学大学研究センター長
吉武博通筑波大学大学研究センター
履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」のご案内

大学を取り巻く環境が厳しさを増すとともに、大学に対する社会的要請も一層高まる中、ガバナンスやマネジメントの強化による大学改革の加速が、これまでも増して強く求められております。

そのためには、組織・制度面での改革とともに、それらを担うマネジメント人材の養成が不可欠となっており、とりわけ大学の管理運営や経営を支える役員・職員への期待が益々大きくなっております。

このような要請に応えるため、筑波大学大学研究センターでは、文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されたことを受けて、平成21年度より履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」を開設、本年3月末までに71名の修了者に対して、筑波大学長名の履修証明を授与しております。

このたび、平成26年度秋季募集を行いますのでご案内いたします。いずれのプログラムも平日夜間、土曜日に開講されます。大学マネジメントを担う人材に必要な体系的な知識やスキルなどを身につけたいと考えておられる方々のご参加をお待ちしております。

履修証明制度とは、大学が、特別に編成する課程を修了した者に対して修了の実施を証する証明書を授与する新しい制度です。社会人からの多様なニーズに応じた体系的な教育及び学習機会の提供を促進するための制度であり、平成19年度の学校教育法改正により新たに創設されました。

このプログラムでは、必修を含む120時間以上を履修し、修了認定委員会による認定を受けた者に対して、筑波大学長名の履修証明書が授与されます。

1. プログラムの概要

プログラムは、次の5つのモジュールから構成されています。

大学マネジメントセミナー	先端的な動向について、当事者から直接に学ぶ
大学マネジメント講義	必要不可欠な知識について、効率的な習得を行う
大学マネジメントワークショップ	具体的な業務に焦点を合わせ、わが国の大学の多様性と現場が直面する課題について理解を深める。同時に、専門家からのアドバイスを得つつ、グループワークを通じて、解決策を模索する
大学マネジメントフィールド調査	先端的なマネジメントを行っている大学を訪問し、インテンシブなフィールド調査を実施する
大学マネジメント研究 (必修)	自大学の現状と課題について客観的なデータ等に基づき理解を深めた上で、解決すべき具体的なテーマを設定し、グループワークを通じ、また関連領域の専門家等からの助言を得ながら、解決のための方策と実現に向けた手順を明らかにする。

2. カリキュラム

このプログラムを構成する5つのモジュールの詳細は、以下のとおりです。

2-1 大学マネジメントセミナー

最新知識の継続的獲得を目的とするモジュールです。このモジュールは、実績を上げている経営責任者（大学の学長や理事など）、意欲的な取り組みを重ねている現場の担当者、関連領域の専門家（実務家や研究者）、政策担当者などを講師として招き、同時代的に開発されつつある現場の知識や技術について総合的な理解を得ることを目的とするものです。

春季	5月下旬～6月上旬	10時間	・講演（5回）：平日 18:30-20:30 1回2時間（初回のみ1時間）
秋季	10月～11月	10時間	・特別演習（1回）：日時は別途連絡 1時間（5回の講演内容の理解を深めるため）

※日程の詳細については、決まり次第、当センターホームページにてお知らせいたします。

2-2 大学マネジメント講義

大学のマネジメントを担うにあたり必要とされる基礎知識を効率的に学ぶためのモジュールです。

春季	5～6月の土曜日 4日間	24時間	集中期間（年3回） <u>◎20科目（40時間）以上を履修すること</u> ・年間42科目（84時間） ・1科目2時間 1日3科目 10:00-17:10
夏季	8月の平日連続する5日間	30時間	
秋季	10～11月の土曜日5日間	30時間	

※日程の詳細については、決まり次第、当センターホームページにてお知らせいたします。

2-3 大学マネジメントワークショップ

大学の広報や国際化、学生のキャリア支援、職員のキャリア支援や教育活動、職員養成など毎回異なる業務領域を取りあげ、大学の現場の最前線で実際に起こっていることとその多様性について理解することを目的とするモジュールです。専門家からのアドバイスを得ながら、当該業務領域で実務に従事している現職と共にワークショップを行います。

年1回、土日を利用して開講します（計16時間）。詳細日程については後日お知らせいたします。

2-4 大学マネジメントフィールド調査

先進的なマネジメントを取り入れている大学を訪問し、インテンシブな訪問調査を行います。I.R.（インスティテューショナルリサーチ、組織研究）の演習であると同時に、データに基づいた比較（ベンチマーキング）を行うことにより自大学についてより深く知ることを狙いとするモジュールです（年1回、合計3時間）。

2-5 大学マネジメント研究（必修：28時間）

大学マネジメント研究は、自大学の現状と課題について客観的なデータ等に基づき理解を深めた上で、解決すべき具体的なテーマを設定し、グループワークを通じ、また関連領域の専門家等からの助言を得ながら、解決のための方策と実現に向けた手順を明らかにするプログラムです。

約8ヶ月間を通して行うプログラムであり、研究計画発表、中間発表、最終発表の3回の発表機会を設けるとともに、その間に、グループワークを行い、受講者同士でのディスカッションを通して理解を深め、研究を促していきます。また、関連領域の専門家やセンター教員からの助言も得ながら、研究を進めていきます。

3回の発表機会は、プレゼンテーション・スキルを習得するための実践の場としても位置づけられています。

3. 修了要件

修了のための要件は、以下に示すとおりです。

- (1) 連続する3年以内に合計120時間以上を履修し、修了認定委員会による認定を受けること。
- (2) 大学マネジメント課題研究28時間の履修認定を受けること。
- (3) 大学マネジメント講義について、20科目（40時間）以上の認定を受けること。

4. 募集人員

現職の大学教職員および大学教職員希望者で、年間20名程度募集は年2回、春季（4月）および秋季（9月予定）に行います。

5. 受講申請資格

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学院を修了した者
- (3) 大学を卒業した者と同等以上の学力がある者と認められた者

【注】上記受講申請資格(3)で出願しようとする方は、事前に受講申請資格の審査を行いますので、筑波大学大学研究センターの担当窓口へ申し出て、受講申請書類等を下記6(2)により期限までに提出してください。

6. 申請期間（郵送による出願）

- (1) 平成26年9月30日（火）締め切り（消印有効）
- (2) 受講申請資格（3）による出願
平成26年9月26日（金）締め切り（消印有効）
（封筒の表書きに「**受講申請資格審査**」と朱書きすること）

※**書留郵便**にて下記住所に郵送してください。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

筑波大学大学研究センター 大学マネジメント人材養成プログラム担当

7. 申請書類

1	受講申請書（所定用紙）両面印刷	1通
2	最終出身学校の卒業又は修了（見込）証明 （卒業、修了後改正した者は、戸籍抄本添付） ※受講申請期間に間に合わない場合は、受講開始日まで提出	1通
3	返信用封筒（長形3号に、住所・氏名を記入。切手は不要）	1通
4	推薦者 （職場の上司等で推薦者がいる場合は、申請書の該当欄に記入） （申請者と推薦者の職場が異なる場合は、推薦者の連絡先住所を記入） （推薦者がいない場合は、記入不要）	

8. 選考及び結果通知

- (1) 申請書類に基づき選考します。
- (2) 選考の結果、不合格となることがあります。
- (3) 選考の結果は、文書により郵送で通知します。また、合格者には併せて受講手続等について通知いたします。

9. 受講料

- (1) 「大学マネジメント人材養成プログラム」受講料 61,800円（半期）
- (2) 標準的な履修コース（1年間）をとる場合、受講料の総額は123,600円となります。
- (3) 最長在籍年数は、3年間となっており、受講料の総額は、履修期間に応じて異なります。
- (4) この履修証明プログラムは、教育訓練給付制度の指定講座となっています。一定の条件を満たした方が修了した場合、実際に本人が支払った教育訓練経費の一定割合が支給（給付）されます（上限あり）。

10. 受講手続

受講者は、下記の期間内に受講料の納入を行ってください。

受講手続を行わない場合は、受講を辞退したものととして取り扱います。

手続期間：合格通知書到着から平成26年10月24日（金）までの間（厳守）

※期限を過ぎますと延滞金が発生する場合がありますので、ご注意ください。

【本募集に関する問い合わせ先】

筑波大学大学研究センター事務室
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
Tel. 03-3942-6304 Fax. 03-3942-6310
E-mail: rcus-ump@un.tsukuba.ac.jp
<http://www.rcus.tsukuba.ac.jp>

<参考>平成26年度 大学マネジメント講義 開講科目および担当講師一覧

科目番号	講義科目名	担当講師
101	○大学マネジメント人材論Ⅰ	村上義紀(元早稲田大学副総長)
102	大学マネジメント人材論Ⅱ	横田利久(関西国際大学事務局長)
103	大学マネジメント人材論Ⅲ	上杉道世(慶應義塾大学信濃町キャンパス事務長, 元東京大学理事)
211, 212	○大学の歴史Ⅰ・Ⅱ	潮木守一(桜美林大学名誉教授)
241	高等教育研究論Ⅰ	島 一則(広島大学准教授)
251・252	○アメリカの大学Ⅰ・Ⅱ	金子元久(筑波大学大学研究センター教授)
261・262	○大学教育とは何かⅠ・Ⅱ	金子元久(筑波大学大学研究センター教授)
313・314	○大学財務・会計概論Ⅲ・Ⅳ	渡邊 徹(日本大学松戸歯学部経理長)
323	大学広報Ⅲ	横山晋一郎(日本経済新聞社編集委員)
324	○大学広報Ⅳ	歌代 豊(明治大学教授・広報センター副センター長)
331	大学情報システムⅠ	伊藤達哉(早稲田大学商学大学院)
332	大学情報システムⅡ	神馬彦彦(早稲田大学メディアネットワークセンターマネージャー)
343	○大学のリスクマネジメント	藤井昌雄(有限会社国大協サービス事業部長)
351, 352	大学関連法規Ⅰ・Ⅱ	松坂浩史(文部科学省大臣官房総務課法令審議室長)
361	ダイバーシティⅠ(男女共同参画)	園入由美(文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長)
362	○ダイバーシティⅡ	青柳まゆみ(愛知教育大学障害児教育講座准教授)
381	○大学と地域・社会	稲永由紀(筑波大学大学研究センター講師)
391	○言語技術	加藤 毅(筑波大学大学研究センター准教授)
404	○キャリア支援論Ⅰ	渡辺三枝子(筑波大学名誉教授)
405	キャリア支援論Ⅱ	角方正幸(リアセックキャリア総合研究所所長)
406	大学生のメンタルヘルス	内田千代子(精神科医師、福島大学教授)
407	学習支援システム論Ⅲ	稲永由紀(筑波大学大学研究センター講師)
409	○学習支援システム論Ⅳ	森 利枝(大学評価学位授与機構准教授)
501	○大学経営戦略論Ⅰ	吉武博通(筑波大学大学研究センター長, 元筑波大学副学長)
502	○教育マーケティング論※	佐野享子(筑波大学大学研究センター准教授)
505	○リーダーシップ論	佐野享子(筑波大学大学研究センター准教授)
506, 507	○統計学Ⅰ・Ⅱ	尾碕幸謙(筑波大学ビジネスサイエンス系准教授)
701	○大学マネジメント特論Ⅰ	山本真一(桜美林大学教授, 元筑波大学大学研究センター長)
704	大学マネジメント特論Ⅳ	三浦春政(物質・材料研究機構理事)
705	○大学マネジメント特論Ⅴ	高梨桂治(福井大学理事・事務局長)
707	○大学マネジメント特論Ⅶ	真鍋和博(北九州市立大学教授)
708	大学マネジメント特論Ⅷ	村上義紀(元早稲田大学常務理事)
710	大学マネジメント特論Ⅹ	根本 進(早稲田大学早稲田ポータルオフィスマネージャー)
711	○大学マネジメント特論ⅩⅠ	合田哲雄(文部科学省研究振興局学術研究助成課長)
712	大学マネジメント特論ⅩⅡ	吉武博通(筑波大学大学研究センター長, 元筑波大学副学長)
714	大学マネジメント特論ⅩⅣ	福島一政(追手門学院大学副学長、福井大学監事)
715	大学マネジメント特論ⅩⅤ	加藤・村上(筑波大学大学研究センター)
716	大学マネジメント特論ⅩⅥ	中田 晃(公立大学協会事務局長)
801	大学マネジメント総論Ⅰ	加藤 毅(筑波大学大学研究センター准教授)
802	大学マネジメント総論Ⅱ	稲永由紀(筑波大学大学研究センター講師)
803	○大学マネジメント総論Ⅲ	吉武博通(筑波大学大学研究センター長, 元筑波大学副学長)

※ 502 大学経営戦略論Ⅱと読み替える(26.5)

○は、2014年度前期開講(敬称略)

筑波大学 大学マネジメント人材養成プログラム

番号

平成 26 年度 受講申請書

ふりがな			男 女	写真添付 (4cm×3cm)
氏名				
生年月日	昭和・平成 年 月 日生			
現住所	(〒) Tel ()			
	Eメールアドレス			
学歴	高等学校 昭和 平成 年 月 日 卒業			
	大学 学部 学科 昭和 平成 年 月 日 卒業			
	大学 課程 研究科 昭和 平成 年 月 日 修了 修了見込			
勤務先	有	名称・部署 : 所在地 :		
	無	Tel ()		
現在の勤務先での勤務年数 通算 ()年 ()ヶ月				
推薦者の職・氏名 (職場の上司で推薦者がいる場合は、職と氏名を記入してください。申請者と推薦者の職場が異なる場合には、推薦者の連絡先住所についても記入してください。)				
大学研究センターの短期集中公開研究会および大学マネジメントセミナーの受講歴				
有・無		延べ日数	日	修了証 枚

職務経歴(勤務先・部署・役職)

昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月
昭和・平成	年	月
～	年	月

現在担当している職務の内容とそこでの課題(詳細に記入してください)

(大学の教職員でない方は、現在の仕事と大学の関連性について論じてください)

これまでの勤務を通じて、最も大きな成果をあげた業務改善やプロジェクトの経験

(詳細に記入してください)

勤務する大学・団体の長所とその長所をさらに発展させる方法について、自由に論じてください

大学マネジメントに関するこれまでの学習歴